

Ⅲ まちがめざすもの

ここでは、まちがめざすものとして、環境に関する町の将来像及び4つの基本目標を示します。

1 わたしたちがしなければならないこと

本町は、酒匂川をはじめとする河川や、町内を流れる水路などが豊かな水をもたらし、水田や屋敷林、社寺林の緑が生活に潤いを与え、あじさいやホタルなど四季を彩る風景が美しい環境に恵まれた町です。しかし近年、私たちの生活や経済活動によって水や空気が汚れ、緑も減少し、ごみも増えるなど、町の環境が様々なダメージを受けています。

本来、自然はすぐれた再生能力を持っていますが、自動車利用や電気使用量の増加、排出するごみの増加など、私たちの生活が便利で質が高くなる一方で、知らず知らずのうちに環境への負荷が大きくなり、自然のもつ再生能力が許容範囲を超え、町特有の環境が破壊されるばかりか、地球がもう二度と元の姿に戻らない日が訪れるかもしれません。

また、福島第一原発の事故に伴い、放射能汚染という新たな危惧も生まれ、私たちは、広く「環境」という分野に意識と関心を持つことが求められるようになりました。

そこで、町民・事業者・町（行政）が一体となって、今ある町の自然を大切に守り育てるとともに、壊した環境は元に戻す努力をするとともに、環境に与える負荷を最小限にとどめた生活様式の実践について、私たち一人一人の意識と努力で実現していくことが求められています。



酒匂橋と富士山



あじさいと田園

2 町の将来像と基本目標

本町の良好な環境を保全、継承していくために、前計画で定められた町の将来像「いつまでも うるおいとせせらぎのあるまち かいせい」を継承するとともに、以下に示す4つの基本目標を掲げ、具体的な取組みを進めていくこととします。

水と緑の豊かな、恵まれた自然環境とふれあい、将来世代にも受け継いでいく、という想いを込めています。

【町の将来像】

いつまでも うるおいとせせらぎのあるまち かいせい
 ～ 水や緑と人とのふれあいを 大切に育もう ～

【4つの基本目標】

(1)水と緑の保全と創出
 ～開成町ならではのうるおいと
 せせらぎを育もう～



(2)生活からの環境負荷軽減
 ～環境に負担をかけない
 生活を心がけよう～



(3)地球環境との共生
 ～次の世代に
 美しい地球環境を引き継ごう～



(4)行政・企業・住民一体の環境
 まちづくり
 ～長い目、広い視野で
 とともに積極的に取組もう～

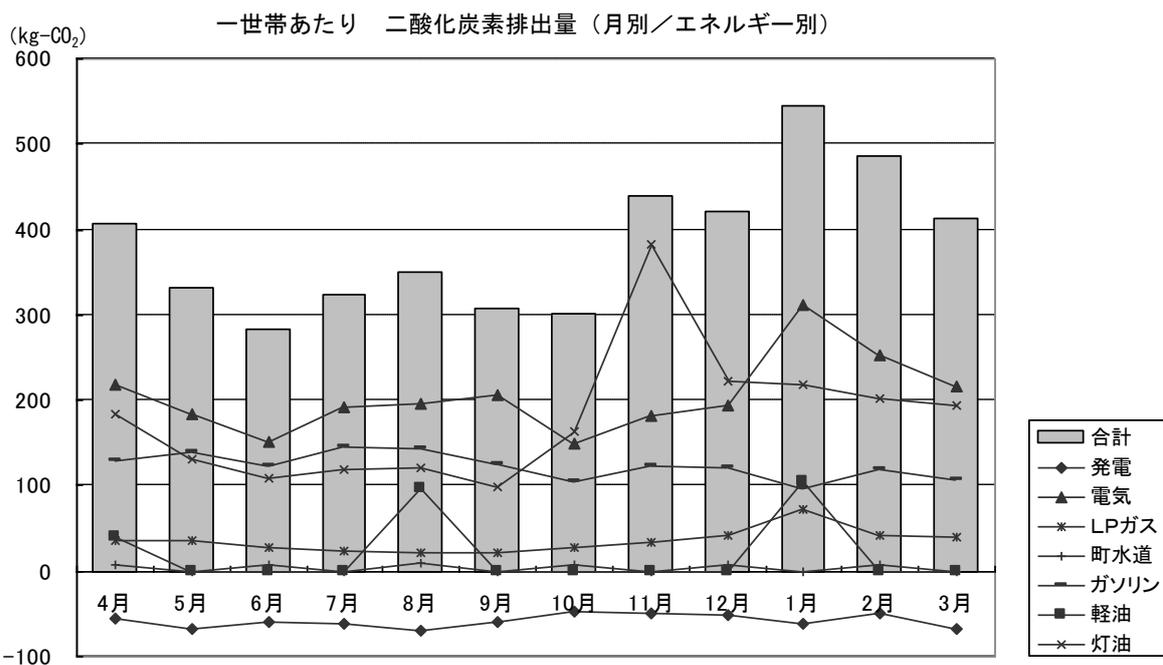




コラム② 省エネ家計簿

開成町では、地球温暖化防止の取組みとして、省エネ家計簿（資料編参照）の推進を行っています。省エネ家計簿は、地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素の排出量を計算できる家計簿であり、町民のみなさんに半年に一度、データを提出していただき、二酸化炭素の排出状況を知ってもらおうとともに、削減意識の高揚をめざしています。なお、平成22年度の集計結果は次のとおりです。

- 対象期間：平成22年4月～平成23年3月
- 参加者：省エネ家計簿取組み世帯 203世帯／データ提出世帯 53世帯
- 対象項目：発電（太陽光）、電気、LPガス（都市ガス）、水道、ガソリン、軽油、灯油の使用量を基に算出した二酸化炭素排出量



開成町の一世帯あたり年間二酸化炭素排出量は約4,616kg-CO₂、日本平均（※温室効果ガスインベントリオフィス「日本の1990～2008年度の温室効果ガス排出量データ」より）と比較して、一世帯あたりで173kg-CO₂人少ないというデータが得られました。

